

2021年2月15日

イオンモール株式会社

CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」 最高評価の「リーダー・ボード」に初めて認定されました

イオンモール株式会社（以下、当社）は、国際的な環境調査と情報開示を行う非営利団体CDP※¹による「サプライヤー・エンゲージメント評価」（以下、「当評価」）の分野において、サプライチェーンを通じた気候変動対策に取り組み、温室効果ガス排出量の削減活動を実施していることが評価され、最高評価である「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード」に初めて認定されました。

また昨年12月、気候変動への戦略及び対応が評価され、前回取得した「B」スコアより1段階高い「A-」の評価を取得しています。

当評価は、「ガバナンス・目標・スコープ3管理・サプライヤーとの協働」の4つの分野で評価され、サプライチェーン全体での気候変動への取り組みに優れた企業が選定されるものです。

2020年度においては、評価対象となった世界の企業約5,800社のうち、約400社（上位7%、うち日本企業：80社）が最高評価の「リーダー・ボード」に選出されています。

引き続き、ESG視点に基づく経営を推進し、収益と企業価値の拡大を通じて経営基盤を強化し、さらなる発展をめざしてまいります。



【主な取り組み一例】

イオンは2018年、2050年の脱炭素化（CO₂排出）見据えた長期ビジョン「イオン脱炭素ビジョン2050」※²を策定。店舗・事業所、商品・物流等のサプライヤーさま、そしてすべてのお客様さまとともに2050年までに脱炭素社会を目指しています。

当社においても、サプライチェーンを通じた気候変動対策に取り組み、温室効果ガス排出量の削減活動に取り組んでいます。

① 「従業員やサプライヤー、出店企業への環境教育の実施」

イオンモール館内の警備や清掃等に関わる従業員やモール運営に携わるサプライヤー、またご出店いただいているすべての専門店に対して、環境教育を実施。気候変動に関する世界の動向や各モールにおける環境対策の好事例を教育資料に盛り込み、CO₂排出削減につながる行動を要請、サプライチェーン全体での環境負荷低減に取り組んでいます。

その結果、当社廃棄物リサイクル率が2018年度86.9%から2019年度89.4%に上昇し、CO₂排出量は8.2%削減となりました。

②「再生可能エネルギー調達拡大に向けた取り組み」

国内外88モール（国内：71、海外17）に太陽光発電設備を導入^{※3}しており、一部のモールでは停電時にも電力を活用できるシステムを採用。イオンモール センソックシティ（カンボジア）では、1MW級の太陽光発電設備と高効率チラーを屋上に設置し、年間約1,560トンの大幅なCO₂削減を実現しています。また、藤井寺ショッピングセンター（大阪府）では、発電された電力を需要家が購入するPPAモデルを導入。一般家庭約30世帯の年間使用量相当の電力を発電し、施設内の電力の一部として活用するなど、脱炭素社会への取り組みを推進しています。



※画像はイメージです

※1：CDPに関する詳細は、CDPの国内ウェブサイト(<https://japan.cdp.net/>)をご参照ください。

※2：「イオン 脱炭素ビジョン2050」の中間目標（2030年に店舗で排出するCO₂を2010年比で35%削減）は、「パリ協定」の「2度目標」達成に向けて取り組む国際イニシアティブSBT（Science Based Targets）により、その科学的整合性を認定されました。

※3：2020年2月末時点



■「ESGデータブック2020」

- ・当社のサステナビリティに関する取り組み事例についてご確認いただけます。

https://www.aeonmall.com/csr/pdf/esg_2020.pdf

※P10-29 環境データ

- ・その他、当社の事業活動については以下をご覧ください。

コーポレートサイト : <https://www.aeonmall.com/>

CSR・環境活動 : <https://www.aeonmall.com/csr/>

インベスター・リレーション(IR) : <https://www.aeonmall.com/ir/>

以上

【本件に関する問い合わせ先】

イオンモール株式会社 広報部 TEL：043-212-6733